

平成29年度
旭川市立永山小学校
開校120周年記念公開研究会

【研究主題】

互いに学び合い、深め合う学習集団の育成
～主体的に学習に取り組む児童をめざして～

1 昨年度までの研究の成果と課題

「自分の思いや考えをもち、豊かに表現する子の育成」
～自分の思いや考えを表現する力を高める授業の工夫～

【成果】

- 表現方法を指導することで、話し合い活動が活発になった
- 自分の思いや考えを話したり、書いたりすることができるようになった

【課題】

- 話す力や聞く力の差が大きい
- 主体的な学び

2 研究主題とめざす児童の姿

「互いに学び合い、深め合う学習集団の育成」

～主体的に学習に取り組む児童をめざして～

【めざす児童の姿】

○見通しをもって、意欲的に学習する子

⇒研究仮説1

・学び方を身に付けることにより、児童は意欲的に学ぶことができるだろう。

○互いに関わり合って学習に取り組む子

⇒研究仮説2

・話し合いの目的を明確にした交流場面を位置づけることにより、互いに関わり合って学ぶことができるだろう。

○新たな見方や考え方を広げることができる子

⇒研究仮説3

・振り返りの場面を位置づけることにより、新たな見方や考え方を獲得したことを自覚し、次の学習につなげることができるだろう。

3 研究内容1について①

学び合い、深め合う⁺
学習集団⁺

学び合い、深め合う授業づくり⁺
話し合いの機会⁺
話し合う視点やテーマ⁺

学習スキル⁺
話す力、聞く力、書く力、読む力⁺

学級風土（認め合う、安心）⁺
学習規律・学習ルール⁺

3 研究内容1について②

• 学習スキル(話し方, 聞き方, 話し合い方, 語彙力)

=どの教科やどの領域でも必要な学び方の技能

⇒スキルを身に付ける時間を国語の時間だけでなく, きらき
らタイム(朝学習)で設定



4 研究内容2について①

【研究仮説2】

話し合いの目的を明確にした交流場面を位置づけることにより、互いに関わり合って学ぶことができるだろう。

・学習過程の工夫



問題解決型の授業を基本

- ①学習課題の把握
- ②解決の見通し
- ③自力解決
- ④協働解決(少人数解決)
- ⑤一斉検証(全体で)
- ⑥まとめ・ふりかえり

4 研究内容2について②

・交流場面の工夫



交流の形態, 目的, 場面

【具体例】

- ・ペアディスカッション
- ・グループディスカッション
- ・指名なし全体交流
- ・立ち歩いての対話 など

・学習環境の工夫

永山リ学校

学び合い・深め合う授業 チェックリスト

1・<必要感のある課題>
が必ずある

2・<自力解決の時間>
が必ずある

3・<話し合い・対話の時間>
が必ずある

4・<まとめとふり返りの場面>
がある

5 研究内容3について①

【研究仮説3】

ふり返りの場면을位置づけることにより、新たな見方や考え方を獲得したことを自覚し、次の学習につなげることができるだろう。

・ふり返りの工夫

- 本時の学習で分かったことを自分の言葉でまとめる活動
- 対話的な学びについて振り返る活動
- 友達との相互評価



「記述」・「作品」・「制作物」・「発表」などで、振り返ることができる。

5 研究内容3について②

【研究内容3】

・ふり返りの工夫

○本時の学習で分かったことを自分の言葉でまとめる活動

「どんな学びの過程を経て、解決に向かったか。」

○対話的な学びについて振り返る活動

「自分の考えを理由や根拠を挙げて話すことができたか。」

「友だちの考えをしっかりと聞くことができたか。」

「自分では気づけなかった違った見方や、新しい見方を知ることができたか。」 など。

○友達との相互評価

本日の授業について

- ①学習スキルが、学習の中で生きていたか
- ②子どもたちが解決したい課題になっていたか
- ③話し合いは、課題解決に向けて、適切に行われていたか
- ④ふり返りが、自分の考えを広げたり、確かなものにしたりするものになっていたか。

忌憚のない
ご意見を
よろしく
お願いします。

本日はありがとうございました。